

1	指定管理者名	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団
2	指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日(5年間)
3	業務の範囲	1 児童館の事業の実施に関すること。 2 児童館の維持管理に関すること。 3 目的外使用許可にかかる事務に関すること。 4 児童館運営委員会の設置、運営管理に関すること。 5 事業評価に関すること。

4. 採点表											
評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)			分析、評価、指示等		得点
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況 (10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	10	平均値比(注) 105%以上:10点、 105%未満～95%:8点、 95%未満～85%:6点、 85%未満:4～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値			開館時間中(10:00～18:00)は、自由来館としている。		-
			②利用人数			平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値			・コロナが5類に移行して制限がなくなったため、来館者人数が大幅に増加した。 【令和5年度】来館者数 14,062人 乳幼児 2,045人 小学生 8,652人 中学生 392人 大人 2,973人 【令和4年度】来館者数 11,664人 乳幼児 1,980人 小学生 6,643人 中学生 591人 大人 2,450人 【令和3年度】来館者数 13,882人 乳幼児 1,291人 小学生 9,968人 中学生 798人 大人 1,825人 (参考)コロナ前である令和元年度との比較 ・R5:14062÷R1:14569≒97%		
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況 (仕様書内)(15点)		15	仕様書以上:15～12点、 仕様書に忠実:11～9点、 仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、 仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、 それ以下:2～0点	・乳幼児と保護者を対象とした事業(計62回開催、延べ678名参加) ・児童を対象とした事業(計83回開催、延べ1,912名参加) ・地域交流事業、多世代間交流事業(計2回開催、延べ190名参加) ・中学生対象事業(計5回開催、延べ26名参加) ・子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進(計26回開催、延べ84名参加) ※別紙:事業評価表 参照	仕様書 以上 13点		・一輪車クラブはレベルも高くないへん盛り上がりとともに、上級生が下級生に教える流れも効果的に構築できている。 ・館内にイベントのポスター掲示や声掛け等で参加者増加に繋げている。 ・地域交流事業では、学校行事の開催日と重複することがあった。今後の学校や地域との連携協力について、課題を明確化することができた。		13点
						・乳幼児と保護者を対象とした事業(計75回開催、延べ526名参加) ・児童を対象とした事業(計70回開催、延べ812名参加) ・地域交流事業、多世代間交流事業(計48回開催、延べ1,144名参加) ・中学生対象事業(計12回開催、延べ47名参加) ・子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進(計2回開催、延べ12名参加) ※別紙:事業評価表 参照			・新しい取り組みや他館との共催、地域との連携事業、入園準備企画や季節に合わせた製作等工夫に努めている。 ・乳幼児や児童と比べて中学生の来館が少ない為、下級生児童との連携や中学生が魅力に感じるような事業の推進に、試行錯誤しながら取り組んでいる。		

評価項目		細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等	得点
2	施設管理状況 (25点)	(1)施設管理業務の実施状況 (10点)	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する 適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり2点	屋内・トイレの清掃:毎日 ガラス・備品の清掃:週1~2回 照明器具の清掃:随時 館庭の清掃:毎朝の定期清掃(雨天を除く)、日常清掃を実施。 駐車場を含め児童館周辺の側道まで、こま目に様子を見て清掃している。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点
					電気工作物、運動遊具の保守点検は委託により実施。パソコンは随時点検。砂場の砂補充。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
					非常通報装置・消防用設備については、警備会社に委託により実施。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
					・階段蛍光灯兼用誘導灯の電池交換(15,400円)	適正(普通) 2点	修繕箇所が発生した場合は、遅滞なく対応がされている。	
					以上については、10万円未満であったため、仕様書の定めにより、指定管理者の負担で修繕を行った。	適正(普通) 2点		
	(2)その他管理業務の実施状況 (15点)	⑤危険箇所の把握 (施設の瑕疵)	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する 期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。	毎月の定期点検により危険箇所の有無について確認。また、学校や民生児童委員、交通安全協会等と連携し、最新情報の共有をしている。 近隣の空き地や駐車場・横断歩道等、使い方について日頃より伝えている。 館内にハザードマップを掲示している。	適正(普通) 2点	日常の業務の中で、危険箇所を把握し、適正に対応されている。	10点
		①文書管理			文書目録を作成し、重要書類はすべて、鍵のついたスチール棚に保管。	適正(普通) 2点	文書目録を作成し、それに基づき適正に管理されている。	
		②環境への配慮			「節電・節水に努める」 利用者のいる部屋のみ照明をつける、使用していない電化製品のプラグは抜く、空気清浄機は閉館後タイマーをセット、冷房の設定温度を28度に設定、夏は高窓を開け風通しを良くする、冬は床にマットを敷くなど、季節に合わせた環境設定でエネルギーの浪費を抑えている。 「廃材や消耗品の再利用」 紙はリサイクル紙を利用し、関係機関への連絡はメールを利用している。 小学生クラブにおいて、定期的に公園の掃除を行っている。 工作ではトイレトペーパーの芯や古新聞等の廃材を積極的に使用している。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
		③バリアフリー			廊下の障害物を撤去し、スペースを確保している。 卓球台の転倒防止の為、ベルトを付けている。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
		④備品管理			備品台帳の原本は子ども支援課で保管。コピーを適正に管理している。年1回照合。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
		⑤個人情報保護			労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団として『個人情報保護規定』を作成し、情報は施錠保管の上管理している。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
		⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする 事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等の対応に不備あり:△1点	11月に1件。小3男児が友達と館庭でサッカーをして遊んでいた際、ゴールキーパー役でボールをキャッチした際に指に当たり怪我を負った。帰宅後夜に病院を受診した際指2本が骨折と判明。職員間で今後よりいっそう子ども達の行動に注意を払うよう話合った。	事故なし・対応に不備なし 0点	ワーカーズコープとして保険に加入している。	0点
3	当該施設の経営状況 (-点)	①事業収支		施設の特性から評価対象外の項目	(参考)収入 11,564,154 ÷ 支出 11,053,505 ≒ 105% 収支状況が必ずしも管理運営状況を反映するのではないため、評価対象外とする。(令和3年度から)			

評価項目		細目	配点	採点基準		実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
4	より良い施設運営のための取組(35点)	(1)市民・利用者の声の反映(20点)	①ニーズの把握・事業への反映	15	期待以上:15～12点、 適正(普通):11～9点、 普通未満～物足りない:8～0点	・窓口に見意見箱を設置するとともにクラブ終了時や、行事開催後などにアンケートを実施し、乳幼児クラブでは館内だけでなく、館外へ出る企画をJMスタッフでは意見を反映したまつりの開催を行った。 ・中高生会議など、感想・意見を聞く場を設け、中高生になっても過ごしやすい児童センターを目指した。 ・学校、幼稚園の休暇や行事を考慮した事業日設定をしている。(小学校振替休日は、児童センターが利用できるように開館する等) ・アンケートの結果、運営委員会の話し合いをもとに、新企画を実施した。	期待以上 13点	・定期的なアンケートの実施や、利用者の意見を聞く機会を設け、事業に反映させている。 ・中高生の来館を促すため、独自に利用者のニーズを聞く機会を設けている。	13点	
		②苦情対応	5	期待以上:5点、 適正(普通):4点、 不備あり:3～1点 ※苦情なしは5点とする	苦情なし。	期待以上・苦情なし 5点	ワーカーズコープとして、苦情解決第三者委員を設置している。	5点		
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)	15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が 期待以上:15～12点、 適正(普通):11～9点、 普通未満～物足りない:8～0点	・脇之島小学校の全校児童数は202人と少ないが、その中の9割が登録カードを提出している。 ・地元の関係団体におたよりやチラシの配布、掲示を積極的に依頼し、利用促進に努めた。 ・施設管理に一番重要な人員確保のために、常時勤務する以外の臨時有資格者を登録し、大きな事業や学校休業日・長期休暇中など来館者の多い場合や急な職員の欠動に対応できるようにした。 ・労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団では、『全国子ども・子育てケアプロジェクト』を組織し、子育て・子育て・障がい児支援の大規模な研究交流を行っている。 毎月「全国子育てWEBミーティング」・5月23日「全国子ども子育てケアプロジェクト会議」・9月9日～10日「全国子育てフォーラム」(オンライン)・11月11,12日「実践交流会」子育ての中で体験する事の重要性を実践報告と共に学習した。 ・年間全国規模の研究交流会を計8回開催。(オンライン)・東海事業本部においても「東海事業本部子育てPJ会議」毎月開催。(オンライン)・法人内児童館職員研修を毎月第2月曜日を基本に開催した。 ・下記他団体の研修会に参加し、未参加者へは伝達研修を行った。 【主催:岐阜県】9/2 木育フォローアップ研修 10/25,2/25ぎふ木育サポーター研修 飛騨五木株式会社【主催:岐阜県児童館連絡協議会】・11/9東濃ブロック研修会「表現活動…音楽」「音でコミュニケーション」～リズムによって心も身体もはずみましよう～ 中部学院大学短期大学部 幼児教育学科教授 岡田泰子先生・「表現活動…造形」「自然は教えてくれる」～あそびは、生きる力～ 小規模保育ねっこ園施設長 浅野美香子先生・12/7東濃ブロック研修会「地域福祉活動」「児童センターの社会的役割と意義」中京学院大学 専任講師 全国こども福祉センター理事長 荒井和樹先生【共催:多治見市社会福祉協議会、ワーカーズコープ】・2/7合同研修会「現代の子どもの性についてーいのちの話ー」愛助産院 助産師 梅本美恵子先生【主催:多治見市消防署】11/6乳幼児向上訓練(FIG)	期待以上 13点	・地域行事や会議への職員の参加や、地域との積極的な連携を行っている。 ・全国組織である点を活かし、様々な研修に参加し共有することで職員の資質向上に努めた。 ・一輪車クラブはともれベルが高く、たいへん盛り上がりとともに憧れを生んでいる。上級生が下級生に技を教える流れも効果的に構築できており、継続性を生み出している。	13点		
5	その他(減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	提出書類の遅れなし。	遅れ・不備なし 減点なし	適正に実施されている。	0点		
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	指示は特になし。	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	適正に実施されている。	0点		
合計				100	【4段階評価】 極めて良好100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討44点以下	全体的な評価 ・極めて良好な管理が行われている。 ・乳幼児、児童とも活発な取組みを展開し、一輪車クラブの強みも生かしながらか積極的に事業を実施することができた。			極めて良好	87点